

令和元年10月30日  
消防研究センター

## 災害廃棄物集積場火災の防止と消火活動について（注意喚起）

積み上げられた木くずや可燃物は、空気による酸化、雨水や空気中の水分との反応、生物発酵等により、自然発火することがあります。また、ガスボンベやバッテリーなども火災の原因となることがあります。

これらの火災の消火は極めて困難であり、出火防止に努めることが大切です。

東日本大震災では、災害廃棄物集積場の火災が 22 件、被災現地に置かれた災害廃棄物の火災が19 件発生しています。

### ① 出火防止上の留意点

災害廃棄物は分別するとともに、可燃物廃棄物は積み上げ高さを5m以下とするなど、蓄熱しない環境管理に留意してください。

災害発生時における廃棄物処理の注意点(環境省)

[http://kouikishori.env.go.jp/document\\_video/pdf/pamphlet.pdf](http://kouikishori.env.go.jp/document_video/pdf/pamphlet.pdf)

令和元年台風第19号による災害廃棄物対応について(環境省)

[http://kouikishori.env.go.jp/archive/r01\\_typhoon19/](http://kouikishori.env.go.jp/archive/r01_typhoon19/)

### ② 出火した場合の消火活動上の留意点

震災がれき仮置場火災の消火活動について 2011. 10. 11(消防研究センター)

[http://nrifd.fdma.go.jp/research/saigai\\_chousa\\_shien/higashi\\_nihon\\_daishinsai/chousa/gareki/index.html](http://nrifd.fdma.go.jp/research/saigai_chousa_shien/higashi_nihon_daishinsai/chousa/gareki/index.html)

問い合わせ先

消防研究センター 研究企画部

TEL : 0422-44-8331 (代表)

メール : [toiawase2019@fri.go.jp](mailto:toiawase2019@fri.go.jp)